

学校だより

12月

中学校区一貫教育校園

玉野市立玉中学校



※生徒の活動の様子、感想を掲載していますが、紙面の都合ですべてを載せられませんでした。ご了承ください。

中学生「だっぴ」を行いました。

2年生は、12/3(土)を土曜授業日として、玉中では2回目の実施となる『だっぴ』を開催しました。この『だっぴ』ですが、一人ひとりの若者が自分らしい生き方を選び、人と人が繋がり支え合える社会をつくることを目指すプロジェクトのことで、地域で主体的に行動している大人と、自分のあり方を模索している若者とがつながる場所を作り出すことを目指して行われています。

この日のために、大学生などの地域の若者16人、社会人などの大人17人、運営や進行のスタッフ3人、合計36人の方が集まり、交流を深めました。



人権週間の締めくくりに人権集会を開きました。

11/21(月)～12/9(金)を玉中学校の人権週間として、各クラスで人権宣言を考えたり、人権に関する啓発活動を委員会で行ったりしてきました。12月8日の世界人権デーに合わせて、玉中人権週間の最終日の12/9(金)に人権集会を行いました。この人権集会では、取組内容について発表し合い(意思表明し合い)、人権について理解を深め、人権について考えることができました。集会に参加する雰囲気もたいへん素晴らしく、一生懸命に発表でき、真剣に聞くことができました。



「あいさつ運動」「読み聞かせ」「ようこそ先輩」に

玉・玉原小学校へ行ってきました。

三者懇談中の12/15(木)に玉小学校、玉原小学校へ生徒が訪問しました。朝から、あいさつ運動に生徒会執行部が校門に立ち、続いて「読み聞かせ」ボランティアとして文化委員他ボランティアとして、各教室で小学生に読み聞かせを行いました。午後からは、1年生の代表が中学校への入学に期待や不安を抱いている現在の6年生に向けて中学校のことを説明する「ようこそ先輩」に行ってきました。

